福島 嵐　　ナミビア

（小学校教育・2018年度3次隊・千葉県千葉市）

［私の任地］

1. 任地の名前：クネネ州オプウォ
2. 任地の人口：約 2万人
3. 首都からのアクセス：長距離バスで8時間
4. 庶民の足：自家用車、タクシー
5. 物　　価：スーパーには輸入物が多く並び、日本とあまり変わらない。

［ナミビア共和国］

ナミビア共和国の概要

1. 面　　積：82.4万平方キロメートル（日本の約2.2倍）
2. 人　　口：244.8万人（2018年：世銀）
3. 首　　都：ウィントフック
4. 民　　族：オバンボ族，カバンゴ族，ダマラ族，ヘレロ族，白人他
5. 言　　語：英語（公用語），アフリカーンス語，独語，その他部族語
6. 宗　　教：キリスト教，伝統宗教
7. 主要産業：(農)牧畜,(鉱)ダイヤモンド，銅，ウラン，亜鉛
   (漁)あじ，えび，かに
8. GDP　　:約145.2億米ドル（2018年：世銀）

［お気に入りのグルメ（食）］

【牛肉のソースとパップ】

町の屋台で食べるパップ。トウモロコシの粉をお湯で練った、現地の人達の主食です。パップにかけるのは、ヤギや牛の肉を、にんにく、玉ねぎ、トマト、塩、香辛料で煮込んだソース。うまみがとても詰まっていて美味しいです。

【ヒンバ族の村を訪問】

ヒンバ族の村を訪問した時のものです。ヒンバ族の女性たちは、身体に赤土を塗り、上半身は裸、腰の周りにはヤギの毛皮、首や手足には金属の装飾品を身に着けて生活しています。

［活動内容］

カメル小学校の教員として、6年生、7年生の算数、理科、アートの授業を担当し、放課後には週一回の日本文化クラブを運営しました。

子ども達の計算の力を伸ばすために、一人一人の現状を把握しながら支援しました。多くの子ども達が教科書を持っていないため、ノートだけでも自習が充実するようにしたりと、授業を工夫しながら楽しく活動していました。

自分一人で授業を担当するだけでなく、先生方と協力したいという思いから、低学年の算数の補助に入り、目で見て手を動かしながら学べる教材の作成に取り組みました。

【6年生の理科の授業】

学校に実験器具がないため、身近な素材を使って簡単な実験に取り組みました。写真では、物質が水に溶ける様子を観察しています。

【地域の先生方の研修会】

算数と理科の授業を提案する機会をもらい、視覚教材の活用や実筒を用いた簡単な実験を紹介しました。配属先の学校の先生方だけでなく、他の学校の先生方と一緒に意見を出しながら授業を考えていくよい機会になりました。